

広報

2011

# おばま 11



《表紙》

四季菜館に隣接する市民農園「大地の恵み」で、児童38人が野菜の収穫体験をしました。これは、市制施行60周年記念事業「食の心を育むキッズ・キッチン」の一環で行われたもので、児童たちは、ニンジンや大根、サツマイモなどを楽しそうに収穫しました。収穫した野菜は、この後のキッズ・キッチンで「浜焼きサバ汁」などに調理され、味わいました。

(10月8、9日)

【特集】平成22年度決算報告

# 平成22年度 決算報告

## 平成22年度の一般会計は？

平成22年度の一般会計は、前年度決算規模と比べて約1%減少となりました。

歳入では、地方交付税は約6%増加しましたが、景気の低迷で市税は約2%減少し、総額は2億5,262万円減少しました。

歳出では、定額給付金や地上デジタル放送対応の伝送路整備の完了などで総務費が約25%減少し、総額は1億7,101万円減少しました。

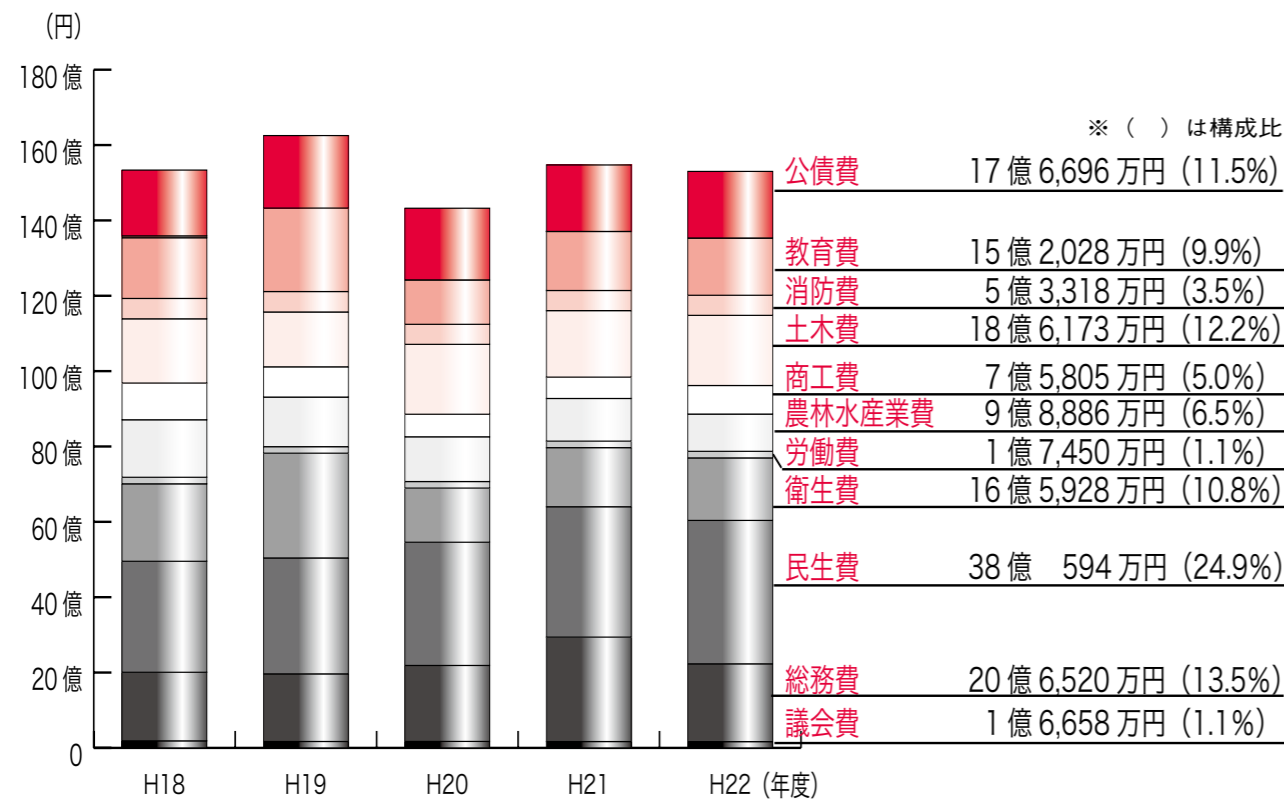
大型プロジェクトにかかる借入金の返済が本年度にピークを迎え、財政状況は依然厳しい状態にあります。今後も「行政のスリム化」「支出のダイエツ」に取り組み、持続可能な財政運営を行います。



平成22年度の決算がまとまりました。小浜市の財政状況が、5年前からどのように変わってきているのか、グラフを使ってお知らせします。

■問い合わせ 財政課 ☎内線 333

## 一般会計「歳出」 153億56万円



### ●主なもの ※ ( ) は前年度比較

#### 【民生費】(3億4,536万円増)

高齢者・児童・障がい福祉などに使うお金で、平成17年度以降毎年増加しています

#### 【総務費】(7億623万円減)

定額給付金や地上デジタル放送対応の伝送路整備の完了などで減少しました

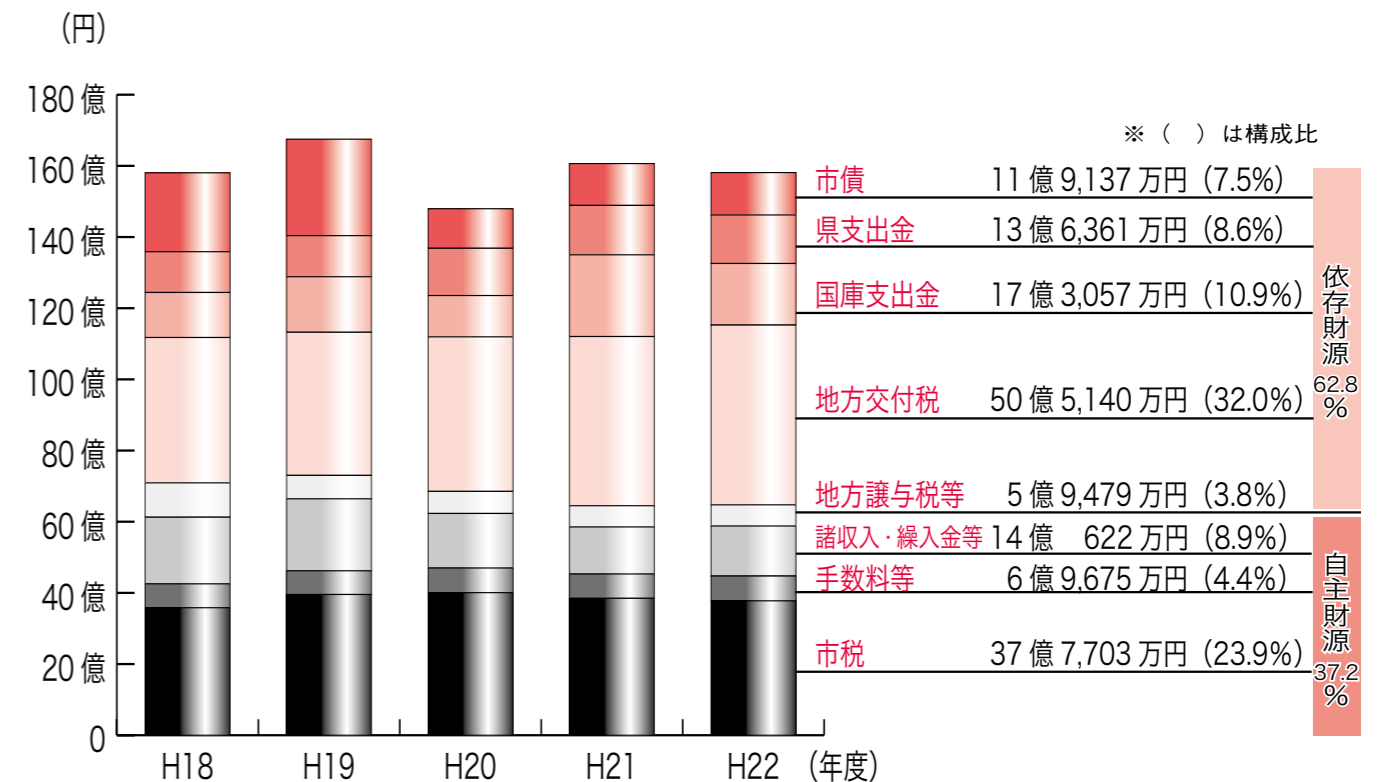
#### 【衛生費】(9,094万円増)

病気予防やごみ処理などに使うお金です。杉田玄白記念公立小浜病院の高度医療施設整備の負担金が増加したことなどから増加しました

#### 【公債費】(321万円増)

市債(借入金)の返済に使うお金です

## 一般会計「歳入」 158億1,174万円



### ●主なもの ※ ( ) は前年度比較

#### 【市税】(7,019万円減)

皆さんに納めていただいている市民税、固定資産税、都市計画税などです

#### 【地方譲与税等】(144万円減)

国税の一部が一定の基準で譲与されるものです

#### 【地方交付税】(2億9,649万円増)

財政力に応じて国から交付されるものです

#### 【国庫支出金】(5億6,523万円減)

市が行う事業に対し、用途を限定して国から交付されるものです

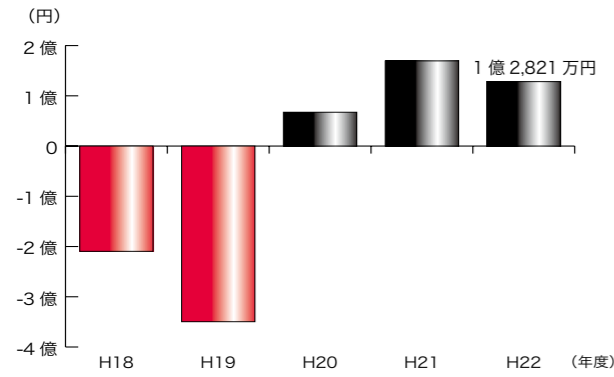
#### 【諸収入・繰入金等】(8,428万円増)

繰入金や受託事業収入、雑入、基金の取り崩しなどです

#### 【市債】(1,557万円増)

借入金のことです

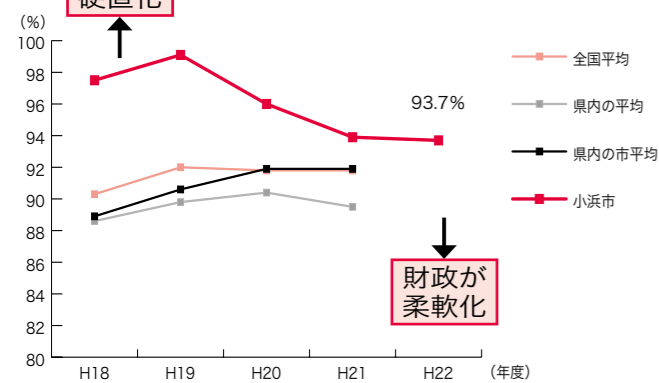
実質単年度収支



実質単年度収支＝実質収支－前年度実質収支＋基金の積み立てなど－基金の取り崩しなど

純粋な単年度収支状況を表したもので、財政調整基金の取り崩しは、マイナスに働きます。平成16年度以降、4年連続で赤字でしたが、国の経済対策で建設事業の市負担分や施設の修繕に係る事業などに交付金を充当したこと、人件費などを抑制したことで3年連続黒字になりました。

経常収支比率

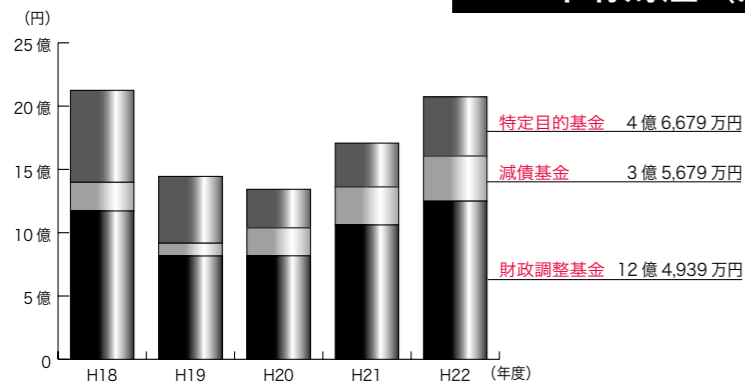


経常収支比率＝ $\frac{\text{経常的に支出される経費}}{\text{経常的に収入する金額}}$

家計に例えると、住居費、光熱水費など毎月確実に支出される経費が、給料のどのくらいを占めるかを表します。数値が低いほど自由に使えるお金が多くなります。

人件費の減少などで、0.2%減少しました。

市有財産（貯金残高）

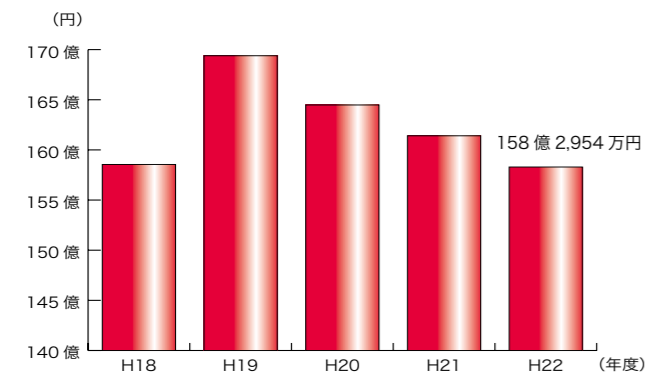


特定目的基金…使い道がしっかり決まった貯金  
減債基金…借入金返済のための貯金  
財政調整基金…使い道が決まっていない貯金

大型プロジェクトにかかる借入金の返済が本年度にピークを迎えることと、今後の大規模事業にそれぞれ対応するため、各基金に積み立てました。



借入金残高（普通会計）



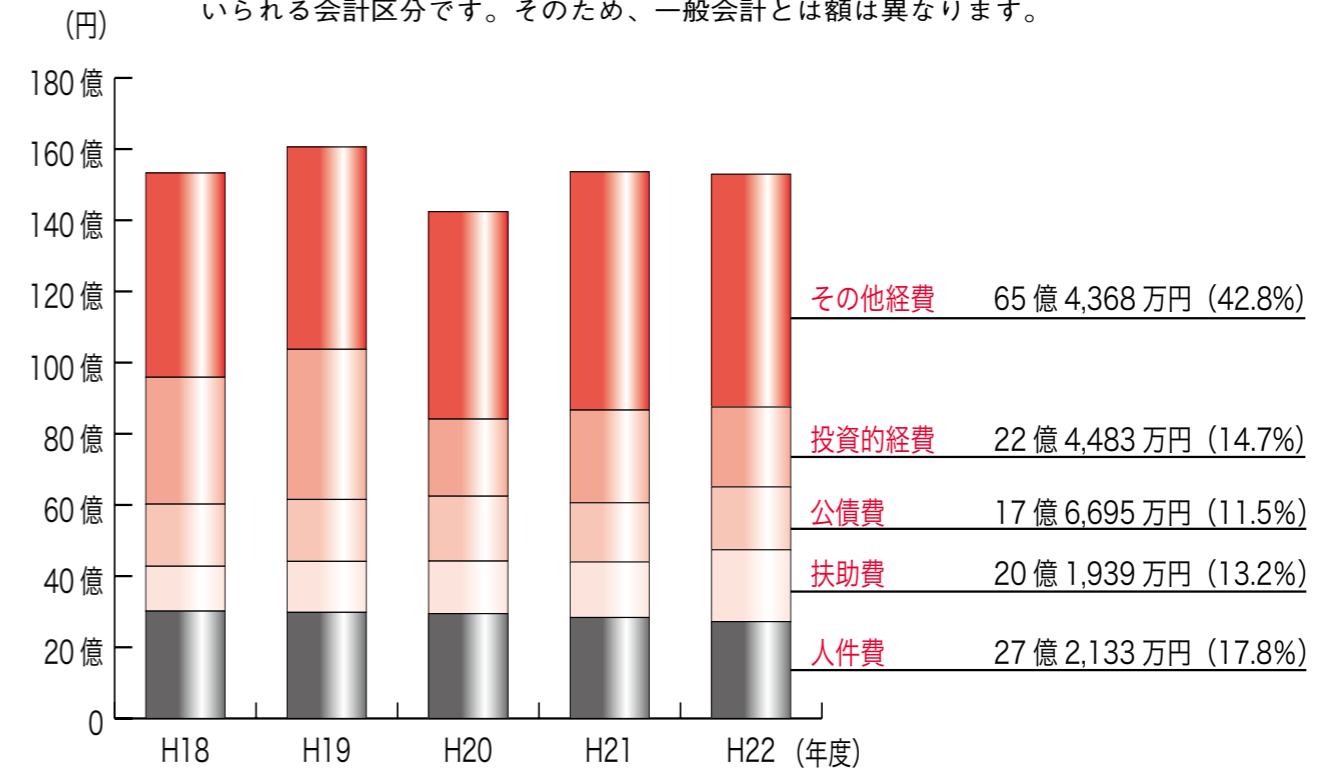
平成18～19年度に増加した原因は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」の建設費として借り入れたためです。

中期財政計画で新たな借金を抑制していく方針であり、今後も減少していく予定です。



性質別歳出「普通会計」 152億9,618万円

普通会計とは、全国の自治体の財政比較などを行うために、統計上統一的に用いられる会計区分です。そのため、一般会計とは額は異なります。



【投資的経費】

道路や施設の建設費です。地上デジタル放送対応の伝送路整備やそらのとり保育園の建設完了などにより、約3億6千万円減少しました

【公債費・扶助費・人件費】（義務的経費）

人件費が4.1%減少、扶助費（社会保障費）が29.3%増加、公債費（借入金の償還）が6.3%増加し、全体で7.4%、約4億5千万円増加しました

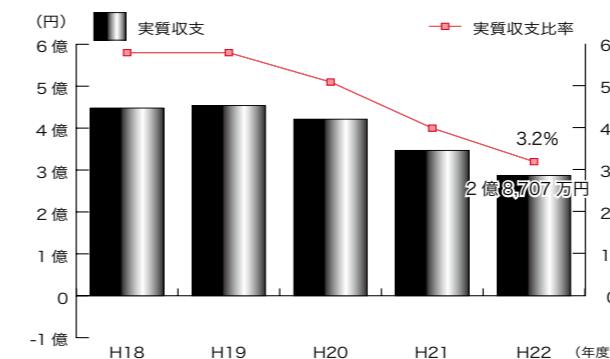
【その他経費】

定額給付金の給付完了などにより、約1億5千万円減少しました

その他経費の内訳

物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金、貸付金、繰出金

実質収支と実質収支比率



実質収支＝歳入－歳出－翌年度に繰り越すべき財源  
実質収支比率＝ $\frac{\text{実質収支}}{\text{標準財政規模}}$

平成21年度から、実質収支比率が一定以上の赤字になると、国などが関与して財政の健全化を行うこととなります。

小浜市は現在、黒字が続いています。

# 健全化判断比率で小浜市の財政状況を見る

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に規定された財政指標について次のとおり公表します（資金不足比率については6ページ参照）。

小浜市では、いずれの指標とも早期健全化基準以下であり、健全（安全）な財政状況です。

	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	③実質公債費比率	④将来負担比率
早期健全化基準	13.52%	18.52%	25.0%	350.0%
平成22年度	赤字なし	赤字なし	13.5%	117.4%
平成21年度	赤字なし	赤字なし	13.8%	136.0%
平成20年度	赤字なし	赤字なし	13.9%	145.4%
平成19年度	赤字なし	赤字なし	13.3%	151.1%

※早期健全化基準を超えると、財政健全化団体となり財政健全化計画の策定が義務づけられます

## ①実質赤字比率

一般会計の赤字額の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。この比率が高くなるほど、歳入確保と歳出削減の対応策が必要となります。

小浜市では実質赤字額がないため算定されません。

## ②連結実質赤字比率

一般会計だけでなく、特別会計と企業会計も合算した額で赤字額の程度を指標化して市の財政状況を示すものです。

小浜市では連結実質赤字額がないため算定されません。

## ③実質公債費比率

市の借入金返済額と一部事務組合（消防や病院など）に対して市が負担すべき経費を、市税と地方交付税などの額と比較して指標化し、その資金繰りの危険度を示すものです。

小浜市は、「リサイクルプラザ」「小浜小学校」建設にかかる借入金の返済（公債費）が本年度にピークを迎えています。

## ④将来負担比率

市の一般会計の借入金（地方債）や将来支払わなければならない可能性のある負担などを、現時点の残高で指標化し、将来、その負担額が市の財政運営を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

小浜市は、借金の残高が減少していくことから徐々に改善されると考えられます。しかし、本市以外の組合や第三セクターの経営状況にも左右されるため、その動向にも注視していきます。

## 特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計とは区別して経理を行う会計です。特別会計では、使用料や保険料などの収入が主な財源になります。

会計名	歳入額	歳出額	資金不足比率	経営健全化基準
国民健康保険事業特別会計	31億3,016万円	30億261万円		
加斗財産区運営事業特別会計	3万円	2万円		
簡易水道事業特別会計	1億740万円	1億4万円	－%	20.0%
駐車場事業特別会計	2,333万円	2,190万円		
老人医療特別会計	391万円	391万円		
下水道事業特別会計	22億1,700万円	21億4,719万円	－%	20.0%
農業集落排水事業特別会計	4億5,722万円	4億5,133万円	－%	20.0%
漁業集落環境整備事業特別会計	5,167万円	5,022万円	－%	20.0%
介護保険事業特別会計	28億3,815万円	28億411万円		
後期高齢者医療特別会計	3億4,735万円	3億4,622万円		

※「資金不足比率」は、公営企業の経営状況の深刻度を示すものですが、各会計とも資金不足額がないため、算定されません

※経営健全化基準を超えると、経営健全化計画の策定が義務づけられます

## 水道事業会計（企業会計）

企業会計とは、民間企業と同じように事業で得る収益で運営する独立採算型の会計です。

損益計算書

営業費用	3億5,722万円	営業収益	4億1,606万円
営業外費用	6,856万円	営業外収益	704万円
当年度純損失	131万円	特別利益	137万円
計	4億2,447万円	計	4億2,447万円

貸借対照表

流動資産	4億2,434万円	流動負債	4,792万円
固定資産	67億2,519万円	資本金	34億5,949万円
		剰余金	36億4,212万円
計	71億4,953万円	計	71億4,953万円

資金不足比率 ー%

経営健全化基準 20.0%

## 小浜市土地開発公社

損益計算書

事業原価	1億263万円	事業収益	9,698万円
販売費・一般管理費	49万円	事業外収益	480万円
事業外費用	691万円		
当期純損失	825万円		
計	1億178万円	計	1億178万円

貸借対照表

流動資産	10億5,648万円	流動負債	2億円
固定資産	11万円	固定負債	7億5,035万円
		資本金	400万円
		準備金	1億224万円
計	10億5,659万円	計	10億5,659万円

## 第3セクター

### 《(株) ケーブルテレビ若狭小浜》

損益計算書

営業費用	3億2,041万円	営業収益	3億9,650万円
営業外費用	739万円	営業外収益	387万円
法人税等	2,809万円	特別利益	253万円
当期純利益	4,701万円		
計	4億290万円	計	4億290万円

貸借対照表

流動資産	2億8,989万円	流動負債	4,557万円
固定資産	5億7,239万円	固定負債	5億4,474万円
繰延資産	100万円	資本金	4,000万円
		利益剰余金	2億3,297万円
計	8億6,328万円	計	8億6,328万円

### 《(株) 小浜市総合卸売市場》

損益計算書

営業費用	2,088万円	営業収益	1,942万円
法人税等	64万円	営業外収益	349万円
当期純利益	139万円		
計	2,291万円	計	2,291万円

貸借対照表

流動資産	2,663万円	流動負債	867万円
固定資産	1億6,252万円	固定負債	3,793万円
		資本金	8,000万円
		利益剰余金	6,255万円
計	1億8,915万円	計	1億8,915万円

※おばま観光局（株式会社まちづくり小浜）の決算報告は8ページをご覧ください

# 平成28年度 市長表彰・奨励賞 文化奨励賞



平成23年度の小浜市長表彰、小浜市奨励賞、小浜市文化奨励賞の受賞者が決まり、10月8日、市制施行60周年記念式典で表彰式が行われました。

市長表彰は26個人（団体）、奨励賞は4個人（団体）、文化奨励賞は4個人の皆さんです。

市長表彰は、市や関係団体から推薦された候補者・候補団体を各種団体長で構成する小浜市表彰選考委員会で審議、選定し、市長が決定します。

文化奨励賞は、市や関係団体から推薦された候補者・候補団体を教育文化に関する各種団体長で構成する小浜市文化奨励選考委員会で審議し、市教育委員会で決定します。

■問い合わせ 総務課☎内線353 教育総務課☎内線422

## 【市長表彰】

政治、経済、教育文化などで市政振興に寄与され、市民の模範となって活躍された個人や団体を表彰します

## 【奨励賞】

さん新たな発想や特色ある活動により、まちづくりや産業振興への貢献度が特に顕著であると認められる個人や団体を表彰します

## 【文化奨励賞】

科学、教育、文学、芸術、歴史などで顕著な業績をあげ、文化振興に寄与された個人や団体を表彰します

平成15年から同23年まで小浜市議会議員を2期8年務められました。その間、まちづくり常任委員会委員長などの要職を歴任され、市政の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。

## 自治振興功労



いのうえ まんじろう  
井上 万治郎 さん  
(谷田部・69歳)

平成3年から同23年まで小浜市議会議員を5期20年務められました。その間、議長などの要職を歴任され、市政の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。

## 自治振興功労



いしの たもつ  
石野 保 さん  
(福谷・63歳)

## ◎おばま観光局の決算状況

# 「おばま観光局」初年度の決算

平成22年4月28日、市と民間団体が出資して、観光を軸としたまちづくりを推進するため設立した「おばま観光局」（株式会社まちづくり小浜）。行政と民間双方の利点を生かし、一体的に取り組んできた初年度の決算と事業内容の概要をお知らせします。

■問い合わせ おばま観光局☎56・3366

## 決算数値

### 損益計算書

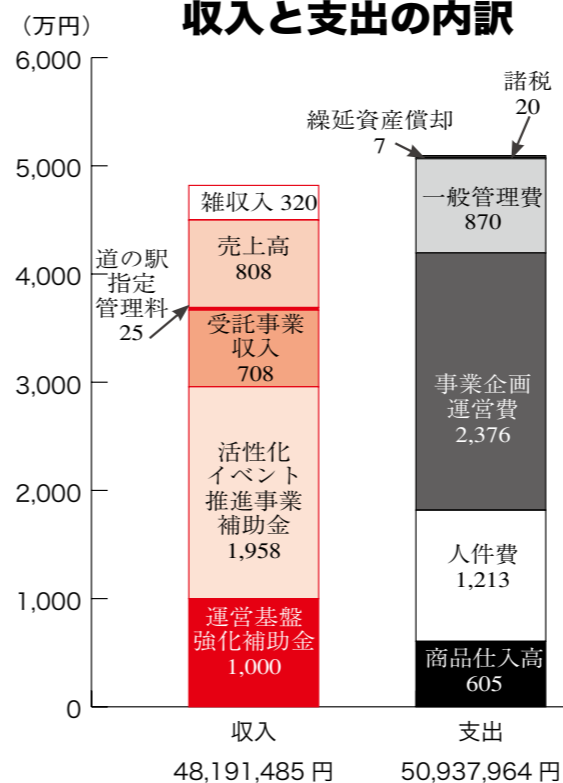
営業費用	5,065万円	営業収益	4,499万円
営業外費用	8万円	営業外収益	320万円
法人税等	21万円		
当期純損失	275万円		
計	4,819万円	計	4,819万円

### 貸借対照表

流動資産	3,121万円	流動負債	1,128万円
固定資産	200万円	資本金	2,500万円
繰延資産	32万円	利益剰余金	▲275万円
計	3,353万円	計	3,353万円

## 具体的な活動は…

## 収入と支出の内訳



## 【初年度の取り組み】

- 「グルメフェスタ」や「OBAMA 食のまつり」などのにぎわい創出事業
- 地場製品の販売促進
- 教育旅行などの体験観光の誘客
- 「お水送りの国 若狭小浜の水」の商品化
- 道の駅「若狭おばま」の管理、運営 など



昨年の OBAMA 食のまつり

## 【収益は?】

独自商品「お水送りの国 若狭小浜の水」16,000本を完売、その他の物販の収益などで販売収益はありましたが、初年度であるため、さまざまな初期投資が必要だったことや、年度途中で事務所を四季菜館に移転したこと、また、道の駅「若狭おばま」の営業が3月分のみしか反映できなかったことから、全体として275万円の赤字になりました。



商品開発された「お水送りの国 若狭小浜の水」

## 【今後は…】

事業開始2年目となる本年度は、おばま観光局の使命である市全体の活性化のため、滞在型、体験型観光の基盤整備や産業振興など公益的事業の展開を着実に進めていきます。それに併せて、道の駅などを積極的に活用して収益の確保による経営の安定化を目指します。



道の駅「若狭おばま」

昭和45年に協業組合若狭塗センターとして創業し、若狭塗箸を地域ブランドとして高めるため、地域団体商標の登録への協力や若手技術者の伝承のほか、学校給食に若狭塗箸の普及を行うなど、地域に残すべき地場産業の振興に寄与されています。

産業振興功労



株式会社  
若狭塗センター

昭和37年にスーパーマーケットとして創業、現在、市内に3店舗を展開し、本市の雇用創出、産業発展に大きく貢献されています。本市が掲げる「食のまちづくり」に合致した店づくりに努め、安全と安心を与える消費生活スタイルを提供されています。

産業振興功労



株式会社  
ママストア

平成10年から同22年まで小浜市教育委員会委員を3期12年務められました。平成15年から同20年には、委員長の高責を果たされ、小中学校児童生徒の学力向上と体育および文化・芸術の振興に大きく貢献されました。

自治振興功労



ひがしの ひろし  
東野 洋士 さん  
(府中・74歳)

平成11年から同23年まで小浜市議会議員を3期12年務められました。その間、副議長などの要職を歴任され、市政の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。

自治振興功労



こどう きよゆき  
小堂 清之 さん  
(下田・75歳)

昭和23年に土木、建築を業とする会社を設立、同25年には若狭地区建設業会、同41年には小浜市建設業会の設立に中心的な役割を果たし、建設業会の発展に貢献されました。また、小浜商工会議所議員として、産業振興、発展に貢献されています。

産業振興功労



若狭建設工業  
株式会社

昭和34年に設立、全国に支社などを構える総合建設コンサルタントとして本市における雇用の創出、社会基盤整備に大きく貢献されています。災害復旧などの緊急を要する業務には、地元企業の中心的存在として、常に献身的に対応され、成果をあげられています。

産業振興功労



京福コンサル  
タント株式会社

昭和39年に(有)岩田海運商事を設立し、市の港湾整備、改修に貢献されています。平成11年から(社)小浜市建設業会会長、同13年から若狭地区建設業会会長、小浜商工会議所常議員を現在まで務められ、本市の経済振興、発展に活躍されています。

産業振興功労



いわた としお  
岩田 敏夫 さん  
(小浜多賀・78歳)

平成3年から同23年まで小浜市議会議員を5期20年務められました。その間、議長などの要職を歴任され、市政の発展と住民福祉の向上に大きく貢献されました。

自治振興功労



やまざき かつよし  
山崎 勝義 さん  
(平野・68歳)

多くの絵画作品を発表され、その作品は多くの郷土の民話集の挿絵として使われています。創作活動や文化事業を継続され、小浜市美術展実行委員長や公民館での絵手紙講師など、後進の育成に尽力されています。

教育文化  
振興功労



うえはら とくじ  
上原 徳治 さん  
(遠敷九丁目・79歳)

昭和47年に「小浜市短歌を学習する会」を発足、同59年には「蒼島短歌会」を結成され、短歌愛好者を育ててこられました。平成5年には「小浜市歌人協会」の結成に参画されるなど、永年の短歌創作活動を通じ、地域文化の向上に貢献されています。

教育文化  
振興功労



いけだ かずえ  
池田 和榮 さん  
(飯盛・83歳)

平成7年から現在まで小浜商工会議所常議員として、また同10年から(株)アオバの代表取締役、同12年には「箸のふるさと館 WAKASA」の2代目館長に就任されるなど、若狭塗箸のブランド力向上と本市の経済振興、発展に活躍されています。

産業振興功労



かみじょう たかし  
上 亟 隆 さん  
(駅前町・71歳)

平成3年に小浜商工会議所常議員に就任され、同9年からは副会頭、同16年から現在まで会頭として中心市街地の再生、企業誘致、商工業の発展や観光振興など、本市の経済の活性化に大きく貢献されています。

産業振興功労



うえの せいじ  
上野 清治 さん  
(小浜今宮・63歳)

市民参加の合唱団をつくるため、「第九演奏会」の実現に努力され、第19回開催となる現在も指導部長として活躍されています。市民参加の音楽活動を通じ、本市の音楽文化の普及に大きく貢献されています。

教育文化  
振興功労



はなざわ えいこ  
花澤 栄子 さん  
(小浜生玉・64歳)

華道、茶道の指導者として、多くの後進を育成されています。平成15年からは伝統文化子ども教室に熱心に取り組まれるなど、伝統文化の普及・次世代への継承活動を通じ、市の華道、茶道文化の振興に貢献されています。

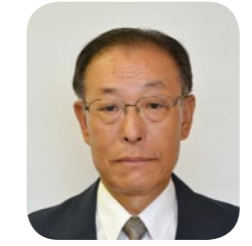
教育文化  
振興功労



はたなか きょうこ  
畑中 暁子 さん  
(千種二丁目・75歳)

平成14年から同23年まで小浜市農業委員会委員を3期9年務められました。平成20年からは会長の重責を果たされ、本市の農業振興と農村の活性化に大きく貢献されました。

産業振興功労



なかの みる  
仲野 實 さん  
(忠野・66歳)

平成6年から遠敷高塚土地改良区の理事長に就任され、同時に遠敷高塚生産組合長などの要職も兼務されています。また、平成16年から小浜市土地改良協会会長を務められ、優良農地の保全と営農振興に大きく貢献されています。

産業振興功労



なかの あつし  
仲野 厚 さん  
(遠敷三丁目・75歳)

平成 19 年ごろから小浜第二中学校や今富小学校で、中庭の樹木の剪定や害虫駆除、草取り、校舎内の壁の塗装、修繕などを定期的に行い、教育環境の整備に尽力されています。また、昭義氏は通学安全ボランティアなどでも活動されています。

**奨励賞**



なかじま あきよし  
中嶋 昭義さん  
みかこ  
美香子さん  
(生守・67 歳、65 歳)

全国で講演活動を行い、若狭塗箸と小浜市を売り込み、本市の経済発展と観光振興に貢献されています。また、はまかぜ通り商店街の指導や企業経営塾「楽笑学」の開催など、中心市街地の活性化と地元企業・商店経営者の指導に尽力されています。

**奨励賞**



きごし かずお  
木越 和夫さん  
(雲浜一丁目・66 歳)

平成 7 年に小浜西部地区 8 区で、住民の代表で組織する「小浜西組歴史的地区環境整備協議会」として設立。歴史的地区の伝統的な町並みの景観を保存し、市の歴史を生かしたまちづくりを実践するとともに、観光行政にも寄与されています。

**教育文化  
振興功労**



小浜西組  
町並み協議会

平成 5 年から同 20 年まで小浜市が文化振興の起爆剤として始めた「日本の第九演奏会」の指揮者として、合唱団の指導に尽力されました。「日本語による第九演奏会」という全国に誇れる演奏会の創出に大きく貢献されました。

**教育文化  
振興功労**



まつお まさみ  
松尾 昌美さん  
(神戸市・76 歳)

課題研究や課外クラブ活動で、未利用水産物などを使用した商品開発に取り組みました。特に「エチゼンクラゲの宇宙キャラメル」を宇宙食として宇宙航空研究開発機構と研究開発するなど、地元水産業界の活性化、市の経済振興が期待されます。

**奨励賞**



福井県立  
小浜水産高等学校  
食品工業科

平成 13 年 9 月設立以来、助産師の専門性から妊婦、乳児だけでなく、幼児から思春期の子どもと保護者を対象に「ふれ愛ベビーマッサージ」「離乳食キッチン」などの子育て支援事業に取り組み、市民が安心して子育てできる環境づくりに尽力されています。

**奨励賞**



小浜助産師会  
うぶごえ

平成 4 年から現在まで民生委員・児童委員として 19 年間務められています。平成 19 年からは小浜市民生委員協議会連合会会長に就任され、長年にわたり、低所得者や高齢者の生活指導、相談活動など、地域福祉の向上に貢献されています。

**社会福祉功労**



あかさき まさひろ  
赤崎 雅博さん  
(遠敷九丁目・67 歳)

平成 15 年から同 21 年まで小浜市体育協会会長を務められ、体育協会の組織の強化、市民スポーツの振興と競技力の向上に貢献されています。また、平成 15 年から小浜市柔道連盟副会長に就任され、青少年の柔道競技の底辺拡大に努められています。

**体育功労**



ふじた せいいち  
藤田 成一さん  
(甲ヶ崎・69 歳)

昭和 51 年穂水流国民吟詠福井県本部に入会し、平成 13 年から 10 年間にわたり「梅田雲浜顕彰全国吟詠大会」の大会事務局長として取り組まれました。詩吟という日本の伝統文化の普及発展と小浜市の知名度向上に貢献されました。

**文化奨励賞  
(功労の部)**



よしおか りゅうたろう  
吉岡 隆太郎さん  
(丸山・69 歳)

平成 2 年若山牧水創設短歌結社「創作社」へ入社し、同 8 年には小浜市文化協会の文芸部長に就任されるなど、本市の文芸文化の向上に尽力されました。また、広く講演、随筆活動を行う傍ら、子どもたちの短歌指導に貢献されました。

**文化奨励賞  
(功労の部)**



ふるたに よしつぐ  
古谷 義次さん  
(中井・74 歳)

平成 3 年から現在まで民生委員・児童委員として 20 年間務められています。長年にわたり、低所得者や高齢者の生活指導、相談活動など、地域福祉の向上に貢献されています。

**社会福祉功労**



たまい あやこ  
玉井 絢子さん  
(小浜住吉・71 歳)

平成 7 年から現在まで民生委員・児童委員として 15 年間務められています。長年にわたり、低所得者や高齢者の生活指導、相談活動など、地域福祉の向上に貢献されています。

**社会福祉功労**



うえむら まさよし  
上原 雅義さん  
(下根来・72 歳)

身に付けた技能を生かし、地域や学校、高齢者を対象に茶華道の伝統文化の普及に努められています。また、伝統文化子ども教室の実行委員を務められ、茶道部門の指導者としても多くの子もたちに茶道文化を伝えています。

**文化奨励賞  
(奨励の部)**



たなか  
田中 みさをさん  
(遠敷十丁目・58 歳)

長年の修業で華道・茶道の見識を高められ、小浜市文化協会理事、教養部長として文化協会の運営に尽力されています。また、学校や外国人研修生などを対象に、生け花やお茶の指導をされ、伝統文化を伝える活動に精力的に取り組まれています。

**文化奨励賞  
(奨励の部)**



まえだ あつこ  
前田 敦子さん  
(小浜広峰・64 歳)

昭和 62 年に小浜市連合婦人会から独立し設立されました。以来、日赤救急法講習会の開催、県防災訓練、市水防訓練の参加、災害時の街頭募金実施など、多方面にわたり社会奉仕活動に尽力されています。

**社会奉仕功労**



小浜市  
赤十字奉仕団

平成 7 年から現在まで民生委員・児童委員として 15 年間務められています。長年にわたり、低所得者や高齢者の生活指導、相談活動など、地域福祉の向上に貢献されています。

**社会福祉功労**



よねむら まさお  
米村 正雄さん  
(生守・65 歳)